

シネコシステイス属のポリヌクレオチドホスホリラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0610

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	ポリヌクレオチドホスホリラーゼ (PNPase) は、リン酸加水分解的な3'から5'のエクソリボヌクレアーゼ活性と3'-末端オリゴヌクレオチドポリメラーゼ活性を持つ二機能酵素です。また、細菌、植物、ヒトにおけるmRNAの処理と分解にも関与しています。
用途	ポリヌクレオチドホスホリラーゼは、PNPaseの主要な機能がCDPの合成であることを発見するための研究に使用されました。また、 <i>S. coelicolor</i> におけるRNA 3'-テール合成に関与する酵素を調べるための研究にも使用されました。
別名	PNPase; ヌクレオシド二リン酸:ポリヌクレオチジル転移酵素; ポリリボヌクレオチドヌクレオチジル転移酵素; ポリヌクレオチドホスホリラーゼ; ポリリボヌクレオチドホスホリラーゼ; EC 2.7.7.8; 9014-12-4

製品情報

種	シネコシステイス属
由来	<i>E. coli</i>
EC番号	EC 2.7.7.8
CAS登録番号	9014-12-4
単位定義	1ユニットは、1.0 μmoleのADPを重合し、15分で1.0 μmoleの無機リン酸を放出します。pH 9.1、37°Cで行われます。20 mM HepesバッファーpH 7.9、0.1 mM EDTA、2 mM DTT、12.5 mM MgCl ₂ 、60 mM KCl、20% (w/v) グリセロールの溶液として供給されます。

保管・発送情報

保存方法	-70°C
------	-------